

~~~~~

~~~~~

いう結果が得られた。借入難度の軟化については、金融庁の中小企業金融政策の効果も一因と考えられる。一方で、借入金利DIはプラスとなり、とりわけ建設業の借入金利のDIが高い。金利の上昇は、金融市場における資金需給の変化が現れ始めたことを示している可能性があり、今後の経済動向の変化を占う指標の一つとして注目しておきたい。その一方で、デフレ下における借入金利の上昇は景気回復の足を引っ張る要因とも考えられ、この点でも注意が必要である。

#### 【各種調査結果】

##### 〔売上高〕

全業種でみるとDIは前回プラスからマイナスとなり悪化している。

- ・全業種でみると、前回調査と比べて7.6ポイント下落した(4.9 - 2.7)。
- ・流通・商業について、前回調査の見通し(13.9)を大きく下回った(-10.5)。
- ・次期の見通しは、全業種でみると21.3ポイントと高く、次期に期待がもてる。

##### 〔採算(経常利益)〕

売上高と同様、全業種でみるとDIは前回プラスからマイナスとなり悪化している。

- ・全業種でみると9.6ポイント下落した(3.2 - 6.4)。
- ・流通・商業について、前回調査の見通し(3.0)を大きく下回った(-10.5)。
- ・次期の見通しは、全業種でみると13.3ポイントとなり、売上高と同様次期に期待がもてる。

##### 〔採算(経常利益)の水準〕

全業種でみると前期と比べて下落したが、プラスの水準を保っている。

- ・全業種でみると前回調査と比べて25.8ポイントと大きく下落した(37.0 11.2)。
- ・次期の見通しが全業種でみると28.1ポイントと高く、次期に期待が持てる。

##### 〔業況判断〕

全業種でみると前期、前年同期と比べて共に悪化している。

- ・全業種でみると前期比で7.8ポイント下落した(-10.8 - 18.6)。
- ・全業種でみると前年同期比で5.7ポイント下落した(-12.5 - 18.2)。

##### 〔経営上の問題点、経営上の力点〕

前回調査とほぼ同様の結果となったが、問題点として「取引先の減少」を選択した企業が17社増加した(26 43社)。「事業資金の借入難」を選択した企業は9社に留まった(前回28社)。

#### 【特別調査】…金融状況

##### 〔借入金の増減、借入難度、借入金利〕

・借入金は前年同期と比べて全業種でみると減少している(DIは-13.1ポイント)。

・借入難度については前年同期と比べて全業種でみると-10.7と借入難度が軟化している状況がうかがえる。

- ・借入金利については前期と比べて全業種でみると上昇傾向にあると考えられる(6.6)。
- ・建設業の借入金利DIは28.0と他業種と比べて非常に高い値となった。

##### 〔資金繰りの状況〕

- ・資金繰りの状況についてはDIが全業種でみると-13.4とやや窮屈な状況がみられる。

##### 〔金融機関への要望〕

・担保主義からの脱却、企業の将来性をみた融資を望むとの意見が多く見られた点からすると、従来から指摘されている銀行の融資姿勢に変化はないと考えられる。

EDOR統計資料(2003年7～9月期)

回答企業の基本情報

業種(4業種分類)

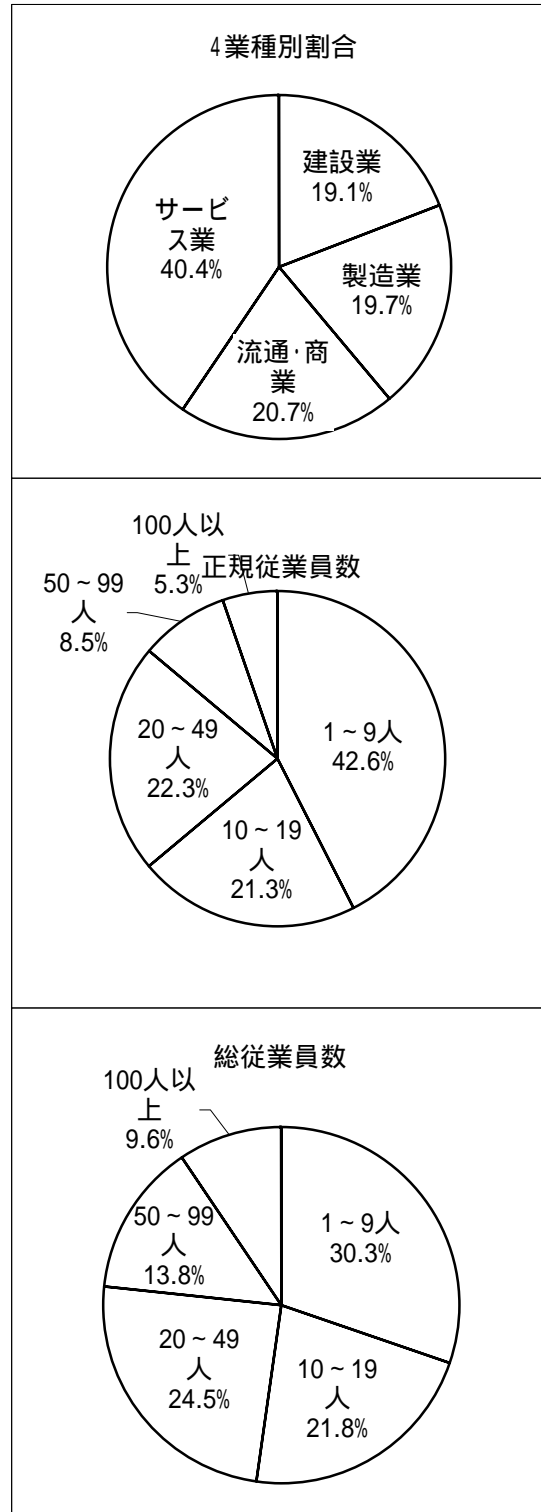
	社	%
建設業	36	19.1
製造業	37	19.7
流通・商業	39	20.7
サービス業	76	40.4
不明	0	0.0
合計	188	100.0

常勤役員を含む正規従業員数

	社	%
1～9人	80	42.6
10～19人	40	21.3
20～49人	42	22.3
50～99人	16	8.5
100人以上	10	5.3
不明	0	0.0
合計	188	100.0

臨時・パート・アルバイト数を含む総従業員数

	社	%
1～9人	57	30.3
10～19人	41	21.8
20～49人	46	24.5
50～99人	26	13.8
100人以上	18	9.6
不明	0	0.0
合計	188	100.0

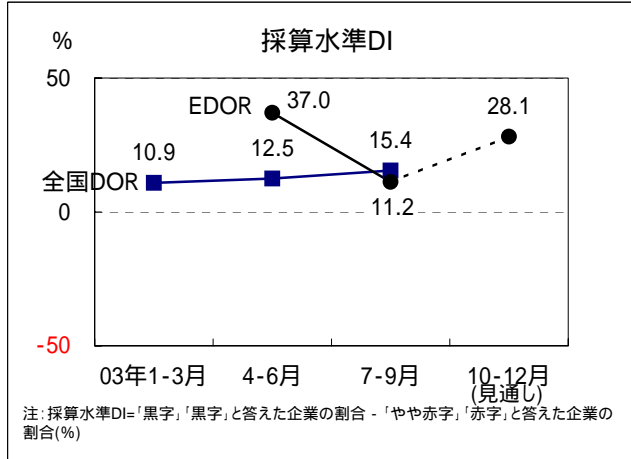
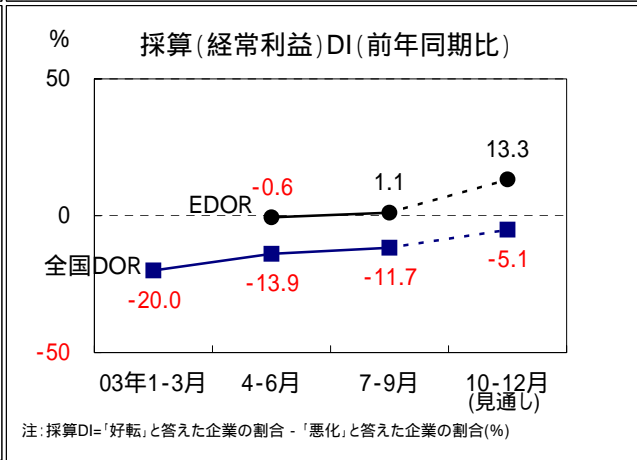
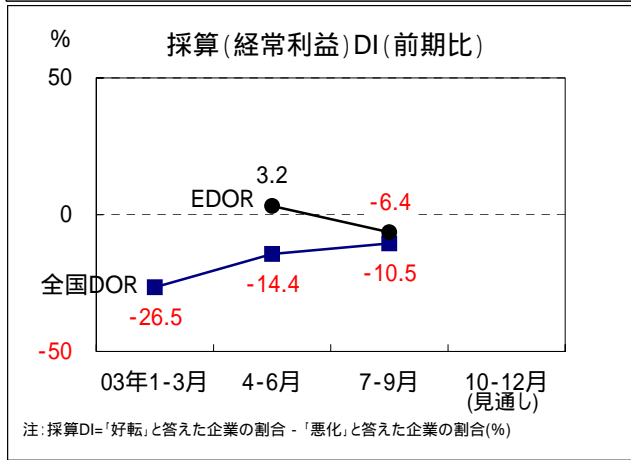
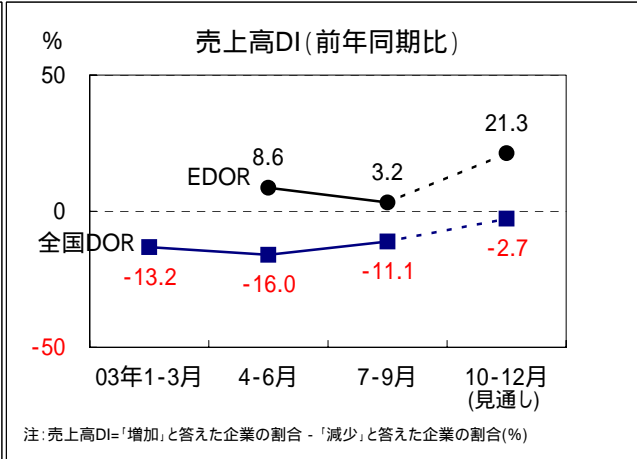
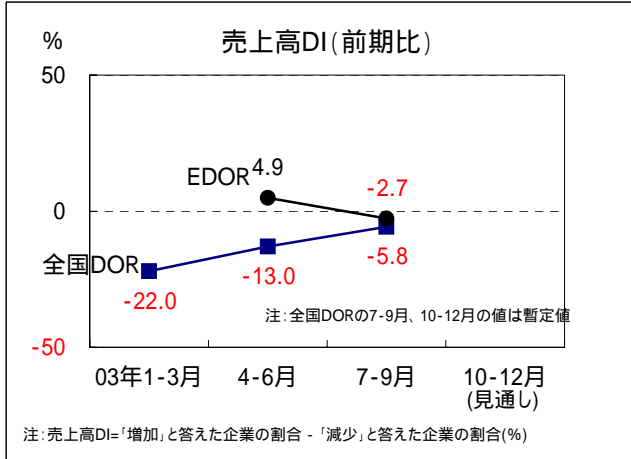


常勤役員を含む正規従業員数 × 業種

	(社)					合計
	1～9人	10～19人	20～49人	50～99人	100人以上	
全体	80	40	42	16	10	188
建設業	18	12	4	1	1	36
製造業	8	6	14	5	4	37
流通・商業	12	10	9	6	2	39
サービス業	42	12	15	4	3	76

## 2003年7～9月期 DI値

(EDOR: 愛媛県中小企業家同友会景況調査、全国DOR: 中小企業家同友会景況調査、DORの値は全国の傾向を捉えており、比較のため掲載)



#### 売上

EDOR 前期比・前年同期比ともに悪化。ただし前年同期比は依然としてプラス値。  
全国DOR 前期比・前年同期比ともにマイナス値であるが、改善の傾向がみられる。

#### 採算(経常利益)

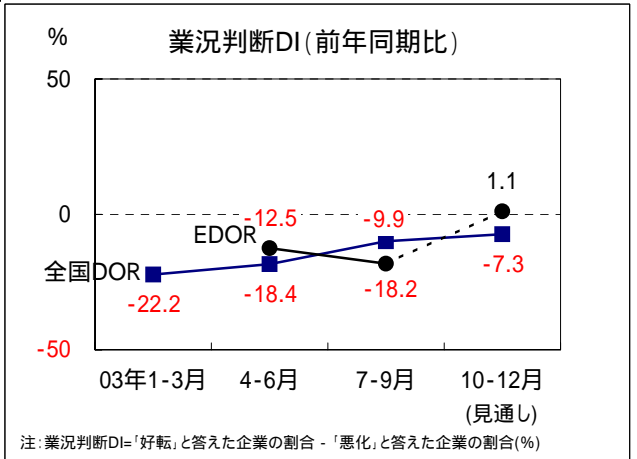
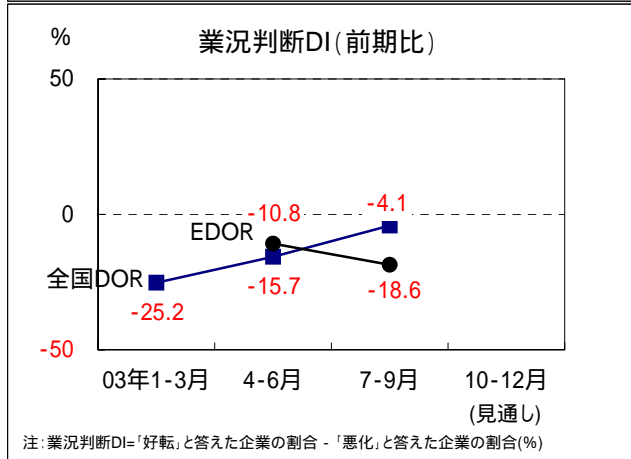
EDOR 前期比は悪化。前年同期比は横ばい。  
全国DOR 前期比・前年同期比ともにマイナス値ではあるが、改善の傾向がみられる。

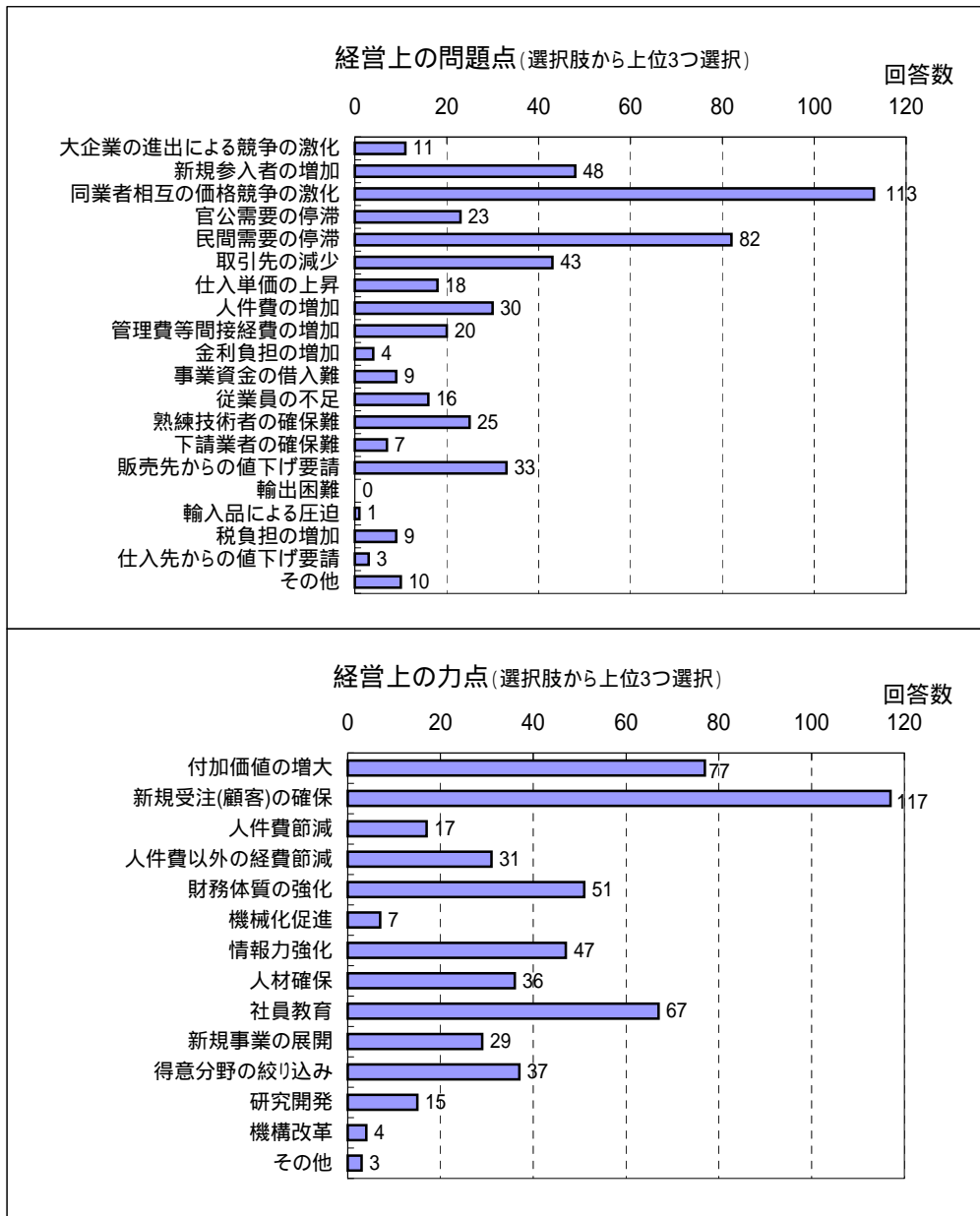
#### 採算水準

EDOR 悪化。ただし、見通しは上向き。  
全国DOR やや改善。

#### 業況判断

EDOR 前期比・前年同期比ともに悪化。ただし、次期は改善の予想。  
全国DOR 前期比・前年同期比ともにマイナス値のままであるが、改善の傾向がみられる。





その他の経営上の努力(自由記述回答)

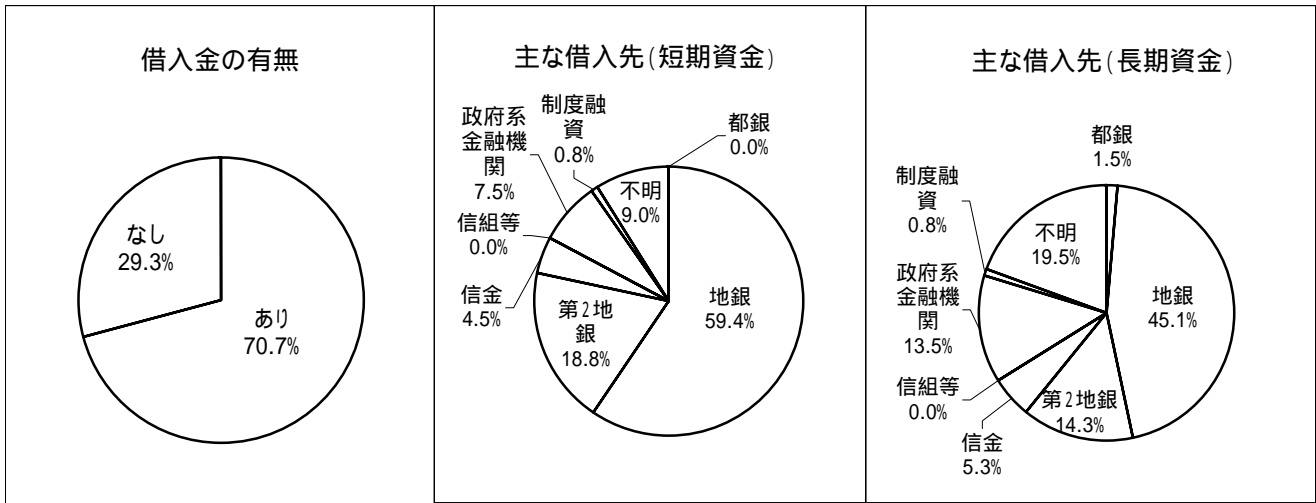
・社員の技術面に関する意識向上によるレベルアップ ・合理化による経費の削減(建設業)

コストが採算ベースに合わなくなって来ている為、受注時の判断、見極め含め、利益を生む対応を図り、逆に選別受注に強化を入れる。装置業界では、大幅なデフレ傾向にあり、3年位前に比べて30%は価格がDownしており、コストの一人歩き状況である。よって客先、業種選別を行えるだけの情報量を持ち、社内的に付加価値の伴う内容の受注を強化する。(製造業)

当社の取扱商品が設備機器故に、経済不況も受けの業種です。1.既存のお客様に対しての営業、サービスの強化。2.他社と差別化出来て、利益の出せる商品への取り組み。3.当面の売上・将来の売上に結びつく営業<遠近両用型>で売上アップを目指しておりますが、業績がスムーズに好転に...とは判断がつかない状況にあります。(流通・商業)

当社の事業としては、官庁の入札が激減している現在、民間の開発申請業務を受注する事に勢力を傾けてます。業務の内容は、仲々高度であり細かい指摘をすべてクリアするには長期にわたる業務となります。顧客に対して、当社の業務価値をいかに認識してもらうかが、鍵となります。業務完了のたびに利益試算を試みますが、誠意をもって取り組みれば取り組むほど赤字と言うき目にあいます。色々、検討を重ねていますが、生き延びるのは、難しい業種であると痛感しています。(サービス業)

特別調査・・・金融状況



金融機関への要望(自由記述回答)

支店長が変わる度に、地元の中小企業に対して、姿勢が全く違うのは、おかしな話である。同じ銀行であれば、変わる必要はないのでは?(建設業)

借りる必要がない時期にも、むやみやたらに借りよう強く求めるのを考えてほしい。(建設業)

担保優先の解消。(製造業)

貸出先の状況を良く理解し、取り組んで頂きたい。現状は、貸出先が少ない為か部分的に特定された取引先への融資と偏った融資によるバブル現象が出ており、それによる影響が怖いのもっと企業の事業内容を把握が必要。もっとリスクを負って取り組んでほしい。(流通・商業)

当社が借入ナシと言えれば聞こえが良いのですが、経済不況の折柄、借入て何をするか...利益を生む事に何があるか...見つけだせない...と言った事と、金融機関の借入の手続きが煩雑な事に起因していると思います。(本音は、借入て儲けてお返しする気持ちはあるのですが)(流通・商業)

・地域経済活性化のため、より具体的に地元の中小企業支援再生事業を行ってほしい。 ・担保偏重主義の是正 ・愛媛同友会との定期的な交換会、協議会開催。(流通・商業)

手数料徴収;例えば両替について(硬貨の)3本以上は取られる・・・廃止してもらいたい。両替するにも金を取るのか!! やってることが「セコイ」と思う。(サービス業)

会社を担保物で判断せず、収益性や可能性で判断し、独自色を出して融資等の決定 企業再編等による再生のための可能性を専門家といっしょに検討。(サービス業)

## 業種別DI

短期資金 (%)	2002年7～9月(前年同期)と比べて								2003年4～6月(前期)と比べて			
	借入金の増減				借入難度				借入金利			
	増加	横ばい	減少	DI値	困難	不変	容易	DI値	上昇	横ばい	低下	DI値
全業種	19.7	47.5	32.8	-13.1	9.8	69.7	20.5	-10.7	15.6	75.4	9.0	6.6
建設業	20.0	56.0	24.0	-4.0	12.0	64.0	24.0	-12.0	32.0	64.0	4.0	28.0
製造業	30.8	34.6	34.6	-3.8	23.1	57.7	19.2	3.9	19.2	73.1	7.7	11.5
流通・商業	12.0	52.0	36.0	-24.0	4.0	64.0	32.0	-28.0	12.0	72.0	16.0	-4.0
サービス業	17.4	47.8	34.8	-17.4	4.3	82.6	13.0	-8.7	6.5	84.8	8.7	-2.2

長期資金 (%)	2002年7～9月(前年同期)と比べて								2003年4～6月(前期)と比べて			
	借入金の増減				借入難度				借入金利			
	増加	横ばい	減少	DI値	困難	不変	容易	DI値	上昇	横ばい	低下	DI値
全業種	19.6	46.7	33.6	-14.0	9.3	71.0	19.6	-10.3	8.4	84.1	7.5	0.9
建設業	15.8	63.2	21.1	-5.3	26.3	52.6	21.1	5.2	26.3	68.4	5.3	21.0
製造業	25.0	37.5	37.5	-12.5	16.7	62.5	20.8	-4.1	4.2	83.3	12.5	-8.3
流通・商業	16.0	56.0	28.0	-12.0	4.0	76.0	20.0	-16.0	4.0	88.0	8.0	-4.0
サービス業	20.5	38.5	41.0	-20.5	0.0	82.1	17.9	-17.9	5.1	89.7	5.1	0.0

## 規模別DI

短期資金 (%)	2002年7～9月(前年同期)と比べて								2003年4～6月(前期)と比べて			
	借入金の増減				借入難度				借入金利			
	増加	横ばい	減少	DI値	困難	不変	容易	DI値	上昇	横ばい	低下	DI値
全体	19.7	47.5	32.8	-13.1	9.8	69.7	20.5	-10.7	15.6	75.4	9.0	6.6
1～9人	22.7	43.2	34.1	-11.4	11.4	65.9	22.7	-11.3	13.6	72.7	13.6	0.0
10～19人	11.5	61.5	26.9	-15.4	7.7	73.1	19.2	-11.5	19.2	76.9	3.8	15.4
20～49人	29.0	41.9	29.0	0.0	9.7	71.0	19.4	-9.7	19.4	67.7	12.9	6.5
50～99人	14.3	35.7	50.0	-35.7	14.3	57.1	28.6	-14.3	14.3	85.7	0.0	14.3
100人～	0.0	71.4	28.6	-28.6	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

長期資金 (%)	2002年7～9月(前年同期)と比べて								2003年4～6月(前期)と比べて			
	借入金の増減				借入難度				借入金利			
	増加	横ばい	減少	DI値	困難	不変	容易	DI値	上昇	横ばい	低下	DI値
全体	19.6	46.7	33.6	-14.0	9.3	71.0	19.6	-10.3	8.4	84.1	7.5	0.9
1～9人	19.4	44.4	36.1	-16.7	8.3	75.0	16.7	-8.4	5.6	86.1	8.3	-2.7
10～19人	31.8	50.0	18.2	13.6	9.1	68.2	22.7	-13.6	9.1	81.8	9.1	0.0
20～49人	17.2	44.8	37.9	-20.7	10.3	69.0	20.7	-10.4	10.3	86.2	3.4	6.9
50～99人	8.3	41.7	50.0	-41.7	16.7	50.0	33.3	-16.6	16.7	75.0	8.3	8.4
100人～	12.5	62.5	25.0	-12.5	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	87.5	12.5	-12.5

## 業種別DI

資金繰りの状況 (%)	2003年7月～9月 (今期)					
	余裕あり	やや余裕あり	順調	やや窮屈	窮屈	DI値
全業種	10.2	12.8	40.6	32.1	4.3	-13.4
建設業	11.1	11.1	30.6	44.4	2.8	-25.0
製造業	8.1	10.8	37.8	43.2	0.0	-24.3
流通・商業	7.9	18.4	50.0	18.4	5.3	2.6
サービス業	11.8	11.8	42.1	27.6	6.6	-10.6

## 規模別DI

資金繰りの状況 (%)	2003年7月～9月 (今期)					
	余裕あり	やや余裕あり	順調	やや窮屈	窮屈	DI値
全体	10.2	12.8	40.6	32.1	4.3	-13.4
1～9人	8.8	12.5	33.8	37.5	7.5	-23.7
10～19人	15.4	10.3	41.0	30.8	2.6	-7.7
20～49人	9.5	11.9	52.4	23.8	2.4	-4.8
50～99人	6.3	25.0	37.5	31.3	0.0	0.0
100人～	10.0	10.0	50.0	30.0	0.0	-10.0